

# 高ちゃんつうしん

\* 2010年 新年号 No. 31 \*



市議会：087(839)2831 自宅：087(888)3272  
eメール：takachan@mxi.netwave.or.jp HP：http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



## 日頃より大変にお世話になっています。今年も何卒よろしくお願ひいたします。

今年、高松市制120周年となる記念の年です。それを祝うかのように3月に第二回高松国際ピアノコンクール、7月19日からは瀬戸内国際芸術祭が開催され、県外だけではなく海外からも大勢の方々が来られる大イベントがあり、日本全体は暗い情勢の中ではありますが、本市は賑やかなまちとなることは間違いありません。(楽しみですね・・)

今、経済情勢が厳しい中、あまりにも多くの問題が山積しており、将来に…明日への不安が広がっています。また時代は今、中央集権ではなく、地域主権への政治へ転換されていきます。その中で私たち議員の役割・責任は、ますます重くなります。だからこそ、地域にしっかりと根をはり、一番近くにいる議員、動く、働く議員として現場第一主義の精神で、庶民感覚を大事にし、今年も精一杯頑張ります。市民の皆様にとって今年が良いとしてありますことを心よりお祈りいたします。



## 11月24日に高松市議会公明党議員会として、市長へ22年度予算編成に対する要望を行いました。

第五次高松市総合計画の推進にあたり、将来における本市発展のための最重要政策課題として、1.健康で生きがいのある総合福祉対策 2.個性・創造性をはぐくむ人間教育 3.環境共生・循環型社会の実現 4.行財政改革の推進 5.コミュニティを軸とした協働のまちづくり 6.水循環型社会の確立 7.文化・芸術の振興策の推進を柱として、特に積極的推進が図られるよう要望致しました。

22年度予算編成にあたり、歳入の根幹をなす市税収入において、景気悪化の影響による法人市民税や個人市民税の減収が懸念されるなど、これまでも増して財政確保は厳しい状況であります。そこで、国の予算編成や地方財政対策等の動向に留意し、施策・事業の効果をききわめた上で、中・長期的な視点に立ち施策・事業の見直しや厳しい「選択と集中」に徹すること。そして、行財政改革による徹底した簡素効率化により、真に生活を守り抜くために必要な市民サービスの維持・充実を図り、急激に変化する社会経済情勢に迅速かつ的確に対応できるよう、取り組んでいくことを求めました。



# 12月議会報告 ～(代表質問)～

12月議会での代表質問を終えて・・・  
代表質問は、これで3度目となりましたが、市政全般にわたっての疑問となるため大変な時間を要しました。これも得難不得難関係なく、将来にわたっての本市の健全財政をめざしつつ、市民の皆様のお声を反映し、安心・安全のための政策提案等一生懸命させていただけました。お力になれるかはわかりませんが、今後も必要なものは何度も取り上げがんばって参ります。



## 1. 市長の政治姿勢について 2. 行財政改革について

- ①市税の口座振替加入率の現状認識と、今後の対策について
- ②現年度滞納整理の徹底を図る上で、電話催告システム導入の考え
- ③納税者の利便性向上のため、エルタックスを導入する考え
- ④ふるさと高松応援寄附金に対する積極的なPRに取り組む考え
- ⑤今回の事業仕分けに対する効果と今後の取り組みについて
- ⑥ジェネリック医薬品希望カードの普及と理解促進の取り組みについて

質問

- ⑤事業仕分けの効果は、それぞれの事業について、市民の皆様の理解を深めていただくという点で大きな効果があり、職員にとっても、事業の意義を根本から見直すとともに、説明能力向上に取り組む契機となり、今後は、この結果を踏まえ、対象事業について見直しを進めるとともに、今回の事業仕分けの考え方を、業務の総点検に取り入れ、より積極的な改善につながる見直しを行い、新年度予算編成と次期行財政改革計画の策定に取り組んでいく。また次年度においても何らかの形で実施する。

答弁

## 3. 企業破綻の影響について 4. 屋島陸上競技場の再整備計画について

- ①屋島陸上競技場再整備の事業規模に対する考え
- ②再整備に対する財源確保についての考え

質問

- ①総額で60億円近くとなりましたが、今後、事業費の縮減や効果的な財源の活用について、種々検討していく。

答弁

## 5. 障がい者の雇用対策について

- ①本市の障がい者の雇用また自立支援対策について
- ②総合評価落札方式の評価項目の中に、障がい者雇用の法定雇用率も加えること。また、多額の物品や業務委託をしている業者にもこの視点を導入する考え

質問

- ①ハローワーク等関係機関と連携を図りながら、相談事業の実施はもとより、必要な福祉サービスの提供とともに、障がい者支援施設等への部品や役務の優先発注など、障がい者のある人の自立支援対策に、積極的に取り組んでいく。
- ②総合評価落札方式の評価項目に、障がい者雇用をはじめ社会政策的要請を反映したものを加える動きも広がっていることから、導入すべき項目の適否や内容を幅広く検討していく。また、物品調達や業務委託の契約は、制限付き一般競争入札により実施する場合などについて、総合評価落札方式を採用し、障がい者雇用などの社会性を評価することも可能であることから、具体的な案件に即して、適切に対応する。

答弁

## 6. ガン対策について

- ①女性特有のがん検診無料クーポン券の継続実施を国へ要望することについて
- ②ピンクリボンのイベントに本市も参画することについて
- ③胃がん・肺がんの検診受診率の低さに対する所見
- ④胃がん・肺がん検診に対する受診率向上策について
- ⑤がん患者の会への場所と人的サポートなど支援体制を整え保健センター・市民病院内等での「がん患者サロン」の体制を作ることについての考え
- ⑥（仮称）がん撲滅条例制定についての考え

質問

- ②今後、ピンクリボンのイベントについて、広報誌への掲載やチラシの配布等による周知を始め、イベント会場における乳がん検診の実施に際し、人的支援を行うなど、様々な形で市も参画していく。
- ④今後、提案の個人通知方式を導入した場合の有効性や課題について検討し、引き続き保健委員会等の地区組織と連携を図り、がんに関する正しい情報の提供や日程等の周知啓発を行い、受診率の向上に努める。
- ⑤がん患者とその家族が気軽に集まって、相談や情報交換等ができる場所や、人的サポートは、必要であるので、市民病院等の医療スタッフと率直に話し合うことができる場の提供など、患者や家族への支援を検討する。
- ⑥現在のところ、条例の策定は考えていないが、今後、他都市の取組状況等を調査し、研究していく。

答弁

## 7. 健康福祉関係について

- ①新型インフルエンザ予防接種の公費助成実施について
- ②ヒブワクチン接種の公費助成の実施について
- ③予防接種に対して保護者への正確な情報提供の取り組みについて
- ④妊婦健康診査の現在の公費負担の状況に対する認識と、来年度以降の公費負担の拡大について
- ⑤本市として、妊婦健康診査の公費助成を継続実施していくことへの考え

質問

- ①新型インフルエンザ予防接種の公費助成拡大は、現在のところ考えていないが、国や県の動向に留意しながら、今後適切に対処していく。
- ②ヒブワクチン接種は、国においての安全性及び有効性の確認と安定した供給量の確保の課題に対する一定の方向性が示された段階で、本市として、公費助成について検討する。
- ④県下統一した妊婦健康診査が、国が示す健診項目とは、一部異なっているため、検討が必要である。国と近い健診内容となるよう、公費負担の拡大も含め、県内の他市町などと、協議を進める。

答弁

## 8. 教育問題について

## 9. 市民病院関係について

- ①緩和ケア病棟設置にともなう課題と設置に対する市長の所見
- ②新病院への助産師外来設置について
- ③患者サービスの向上対策と職員の意識改革の取り組みについて

質問

- ①新病院に、今後患者のニーズの状況や国の動向も踏まえ、諸課題に十分留意し、予防から終末期まで一貫した質の高いがん医療に取り組むために、緩和ケア病棟を設置するよう努める。
- ②助産師外来は、妊産婦の多様なニーズに対応でき、医師の負担軽減の効果も期待できる。今年度から、助産師修学資金貸与制度を創設し、助産師の確保に努めており、新病院では、周産期医療充実のため、専門性を生かした助産師外来の導入を検討する。

答弁

11月19日から20日に総務消防委員会にて、危機管理指針策定においての先進市の取り組みとして、横須賀市と宇都宮市へ行政視察に行ってきました。

高松市では、今年度中に危機管理指針を策定する計画ですが、その参考として、特に横須賀市の危機管理カードを全職員に配布するなど大いに参考になりました。

高ちゃん視察



10月10日から12日に丸亀町三町ドームで行われました「広がれピンクリボン運動」と題したイベントに、ボランティアで参加しました。



この日は、ドームも初めてピンク色に染まるなど、高松中央ライオンズの一員として、グッズ販売を応援させていただきました。夜には、乳がんに対する正しい情報とがん検診の重要性をしっかりと認識できるコーナーもありました。もっと多くの市民の方々に参加してほしい内容でした。

12月12日公明党の出前政調にて、公明党政調副会長の古谷衆議院議員をお迎えして、地域医療や在宅介護に関する課題に対して懇談しました。



※出前政調：公明党の政調会長が全国を回って現場等での様々な課題に対して、直接ご意見を伺うことです。



12月16日に公明党支部会にて普通救命講習会を実施しました。

当日は、年末のお忙しい中80名ほどの党員の皆様がお集まり下さり、大勢の方々がAEDの使用法を体験することができました。

あっちこっち  
高ちゃん



編集後記



昨年は、私と主人の二人で、コスモスの種を蒔いてみました。結果は、11月に何とかまだらに花が咲きました。やっぱり簡単ではありませんね。でも今年は、去年の経験を生かしてもっと上手に蒔いてみます。

4

